

令和2年度

「石田市長と語ろう！まちづくり懇談会」

ご意見・ご要望に対する回答について

日 時：10月23日（火）午後6時30分から

場 所：保健・福社会館

ご意見・ご要望の一覧

項 目	ページ
芝崎地区	1
溝口地区	1
一貫野地区	2

石田市長と語ろう！まちづくり懇談会

内容は要約しております。また、正式な用語に一部変更しておりますので、ご了承ください。

ご意見等の要旨	回 答
<p>芝崎地区（１）</p> <p>荒沼川の暗渠部の強度チェック（耐震チェックを含む）及び堆積物の除去をお願いしたい。</p> <p>芝崎地区（２）</p> <p>芝崎児童公園の雑草を根こそぎ除去してほしい。</p>	<p>ご要望につきましては、早期に調査を行い、強度チェック及び堆積物の除去を計画してまいります。</p> <p>芝崎児童公園の雑草の根（地下茎含む）迄の除去につきましては、除草剤散布により次年度に対応予定です。除草剤散布には万全を期して実施予定ですが、実施時期につきましては、地区と協議の上、決定してまいります。</p>
<p>溝口地区</p> <p>市道８－５１４号線が一部未舗装のため、道路舗装の要望をしてありますが、当時、市の回答は「全体計画の中で検討してまいります。」でした。要望から１０年が経過していますが、現状での市の整備計画に同路線は入っているのでしょうか。</p>	<p>ご要望箇所（市道８－５１４号線）につきましては、整備要望路線として計上しておりますが、次年度に道路を伐開し、砕石敷均し工事を実施します。舗装につきましては、交通量等を考慮して検討してまいります。なお、舗装までの間につきましては、道路の維持管理に努めてまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p>一貫野地区（１） ごみ集積所は地区に入っていない方も利用しているのが現状であり、維持管理を地区住民に課すのは不公平であり、負担を感じます。老朽化したごみ集積箱の設置費用も利用者負担とのことですが、市による集積箱の設置または補助金による援助をお願いします。</p>	<p>ごみ収集容器については、不法投棄防止の観点から、ネットの貸し出しへ変更した経緯がございます。しかしながら、集積所に出されたごみ袋がカラスや小動物により荒らされる被害が多く、集積容器の提供の要望もございます。このことから、ごみ収集容器の貸し出しやごみ収集容器購入に係る補助制度につきまして、他自治体の事例を調査し、神栖市の集積所に適した制度を検討してまいります。</p>
<p>一貫野地区（２） 近年、地区に新居を建てた方の多くが、区に入るメリットが無いとの理由で区に入らず、地区の戸数減少と区費運営に苦慮しています。市としてもこの問題は以前から対応策を考えているとは思いますが、現在の進捗状況と改善案を説明頂きたい。</p>	<p>近年、地区への加入率の低下が喫緊の課題になっており、子育てや仕事で忙しい若い世代の方々は、地区活動を負担と感じ地区に加入しなかったり、高齢の方々はなかなか地区活動に参加できないなどの理由で地区を脱会する方も少なくないと聞いております。市では、地区への加入促進の取り組みとしまして、転入届などの手続きの際に地区（町内会・自治会）の紹介パンフレットの配布や、市のイベント等において、地区活動を知ってもらうためのPR活動を行っております。また、地区からの脱退防止の取り組みとしまして、地区加入世帯の経済的負担を軽減するための地区活動費の助成について、各地区において高齢者世帯等の区費の減額や免除を行うための財源としていただくため、地区運営経費を支援する行政経費交付金を今年度から拡充をしたところでございます。地区加入者に対するメリットの創出につきましては、行政委員連絡協議会と連携を図りながら、地区に加入し続けていただけるような方策として、地区加入世帯及び地区活動参加者へ地域ポイントを付与する仕組みについて検討しております。今後も市では、地区との連携を図りながら加入促進、脱退抑止となるPR活動を行うとともに、自助・共助・公助における共助を担う地区の活動がさらに活性化するよう取り組んでまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p data-bbox="151 257 454 302">一貫野地区（３）</p> <p data-bbox="151 336 614 705">神栖市には大学に進学するための高校がなく、現状は千葉県か鹿嶋市の高校に進学する学生が多く、新しく神栖市に住居を求める住民が迷う要因となっている。市は子どもの教育をどのように考えているのかお聞かせ願いたい。</p>	<p data-bbox="638 336 1428 504">進学高校の問題および子どもの教育を市はどのように考えているのかとのお尋ねにつきましては、高等学校進学状況等を踏まえ、お答えいたします。</p> <p data-bbox="638 537 1428 974">現状の高等学校進学状況としましては、ご意見いただきましたように市内の中学生の約半数が市外の高校に進学しており、さらに、児童・生徒数が年々減少し、市内高校の生徒確保が厳しい状況となっています。このような状況も踏まえ、市と神栖高等学校、波崎高等学校及び波崎柳川高等学校の市内県立高校３校は、未来を担う人材を地域で育み、魅力あるまちづくりを進めるため、県内では初の取組となる「神栖市と市内県立高等学校との包括連携協定」を締結しました。</p> <p data-bbox="638 1019 1428 1377">この包括連携協定に基づき、選挙の出前講座の開催や防災訓練の連携・協力、地元立地企業への就職支援に向けた取組、また、高校生によるラジオ番組の制作等の実施に向けた協議を進めるなど様々な取組で、県立３校のレベルアップに努めているほか、通学バス等移動手段の確保支援策や、市内高校進学奨励支援策につきましても、来年度以降の実施に向け、協議・検討を行っています。</p> <p data-bbox="638 1422 1428 1579">さらには、先日、茨城県教育委員会および県教育長が神栖市に来訪された折に、当市に進学校をつくるべきであるというお話をさせていただいたところです。</p> <p data-bbox="638 1624 1428 1937">今後も、茨城県教育委員会の策定した『県立高等学校改革プラン』や他自治体での取組事例等を参考にしながら、高校と地域、行政等が連携し、地元高校の魅力ある学校づくりに向けた支援体制の構築に向け、検討を進めてまいりますとともに、進学率向上を目指し、魅力ある学校づくりに向け、検討を行ってまいりたいと思います。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p>一貫野地区（４） 神栖市の病院と医者不足は以前から問題視されていますが、将来どのような構想を描き、働きかけをしているのかお聞かせ願いたい。</p>	<p>当市の将来における医療体制整備といたしまして、現在、鹿島労災病院と神栖済生会病院の再編統合に係る新拠点病院の整備に取り組んでおります。鹿島臨海工業地帯を擁する産業都市に相応しい急性期機能や救急医療機能を備えた病院として、そして、現在流行している感染症等にも対応できるような医療体制の構築に向け、基本計画の策定を進めているところでございます。さらに、新病院で活躍する医師を確保できるよう、茨城県や関係機関と協議・連携し、医科大学への働きかけによる寄附講座の開設や、Ｕターン医師の確保に努めるなど、支援している状況であります。</p> <p>さらに、医師確保については、指導医や研修医等に当市の医療機関を就業の場として選択してもらえよう、魅力ある教育・研修環境整備を図るため、令和元年度から新たに「若手医師きらっせプロジェクト」を立ち上げました。救急医療体制については、医師不足であっても、現体制の中で最大限の機能を発揮していくことが大切であることから、特に循環器疾患については各医療機関と鹿島地方消防本部救急隊と協力して、ホットラインの設置や受け入れ体制分担表の整備をするなど、市内の医療機関での受け入れ強化が図れるよう状況改善に努めており、平成30年からは、鹿島地方消防本部管内の救急搬送時間において2年続けて50分を切るなどの短縮につなげることができました。</p> <p>さらに市民の「かかりつけ医」となる診療所については、人口10万人当たり診療所数が茨城県や他地域と比較すると格差が見られることから、新たな診療所を誘致できるよう、市内に診療所を開設する際の費用の一部を貸し付ける制度を創設しました。令和2年度に1件の活用実績があり、来年度についても何件かの打診が届いている状況です。</p> <p>今後におきましても地元医師会や茨城県をはじめ、関係機関と連携・協力して地域医療体制整備の推進を図ってまいります。</p>

ご意見等の要旨	回 答
<p>一貫野地区（５）</p> <p>神栖市は全国・全地域の財政力指数ランキングで１４位とトップクラスですが、住んでいる住民が福祉ならびにイベント等で喜びを感じられる「まちづくり」を考えていただきたい。</p>	<p>住民の皆さんが神栖市に住んで良かったと思えるまちづくりを行うため、市では、魅力度向上に向けた各種施策に取り組んでいます。その一つといたしまして、本市が誇る息栖神社や神之池・海水浴場などの観光資源や特産品等を活用して、まちのにぎわいを創出するプランの検討を行っているところです。</p> <p>さらに、神之池では、現状の桜の状況について樹木調査を行い、枯れ木の撤去、新たに神之池の気候に適した桜の植樹を行い、樹勢の回復、改善を図り、神之池における桜の名所づくりを進めます。</p> <p>また、スポーツのまちづくりといたしまして、市の一年を通じた温暖な気候と豊かな運動施設を活かし、宿泊を伴うスポーツイベント等を行う団体への施設仮予約や、宿泊施設紹介などのサービスをワンストップで行う「スポーツツーリズム推進室」を設置しました。</p> <p>福祉につきましては、本市が掲げる「子育て日本一プロジェクト」において、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談や支援を実施する「子育て包括支援センター」を開設し、保健師と子育てコンシェルジュを配置、妊産婦や子育て中の保護者からの相談を受け、情報提供を行い、必要なサービスを円滑に利用できるようきめ細かく支援をしています。</p> <p>また、健康寿命を引き上げるため、平成３０年度から、各種がん検診の自己負担金を無料としたほか、４１・４６・５１歳の方を対象に、胃がんのリスク検査を実施しているところです。</p> <p>このほか、台風や大雨に備えた災害対策として、市民が自由に土のうを持ち出せる「土のうステーション」を市内１０箇所に設置したり、学校におけるＩＣＴ（情報通信技術）環境整備の充実を図り、児童生徒一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境の実現を目指すなど、様々な施策を実施しております。</p> <p style="text-align: center;">— 次ページに続く —</p>

ご意見等の要旨	回 答
	<p>終わりに、現在、市では、かみす防災アリーナ等を使った大規模なイベントも検討しております。住民の皆様「住んで良かった」と感じていただけるまちづくりを進めるにあたりましては、市民目線に立ち、市民との協働により、市民本位のまちづくりに取り組むことを基本として、当市の恵まれた自然環境と産業集積とが調和し、潤いと安らぎ、安全・安心を兼ね備えたまちの形成を図り、「かみすを好きな人があふれるまち」を目指してまいります。</p>